

2014. 7. 26 日本災害医療ロジスティク研修会

チーム中津川 Dx

## 釜石地区本部活動

川端 潤  
幸脇 正明  
古賀 祥基  
田中 翠子

◎出羽 厚二  
中山 恵美子  
渡邊 格

# 主な活動

25日

- 8:55 岩手医科大学 出発
- 10:23 283号線 遠野病院前 国道液状化のため通行不可 旧道へ迂回
- 11:40 釜石保健所到着 保健所把握の釜石地域情報を取得
- 11:50 最先着班として釜石地区統括本部となる。後着4班の担当病院・地域を決定
- 16:30 釜石地区災害対策合同会議（大鋸不参加）
- 19:00 通信環境を確保できないため釜石保健所から統括本部撤退  
（統括機能は県立釜石病院チームに一時委譲）
- 20:10 県立釜石病院内に統括本部移設完了
- 20:10 余震発生、（震度5強、沿岸部津波警報）各地区の安全確認
- 20:45 余震の被害なしを確認
- 20:10 DMAT隊5チーム到着、各地域に割り振り

26日

- 1:18 更にDMAT隊5チーム 7時頃到着予定の連絡
- 6:30 前日到着の5チームを各地区担当へ引継ぎ  
後着の5チームは空いた担当を後継
- 7:10 後続隊への引継、釜石5チームの引き上げを本部へ報告
- 9:45 岩手医科大 帰着
  
- 14:10 冷麺（盛岡駅前） 解散



# 机上シミュレーション



チーム名選定中



9:00 本部出発

まだ この時は元気だった



遠野病院直前 国道283号線

10:00 迂回路を探す

11:40 釜石保健所到着

早速 釜石状況調査



11:40 釜石保健所挨拶



11:50 釜石被災地状況説明

釜石保健所 中野様



釜石地区担当割り振り

本部

前沢SA

釜石地区

宮古地区

D

国立釜石  
病院

E

県立釜石  
病院

F

のぞみ  
病院

G

大槌高校

H

13:00 現地本部立ち上げ

北はこっちな



15:45 避難所調査

# 避難所アセスメント用紙

避難所 報告用紙  
報告チーム

避難所名		避難所代表者氏名		所属	
評価年月日		避難所代表者連絡先			
ライフライン	水	◎	△	※	
	電気	◎	△	※	
	ガス	◎	△	※	
	食料	◎	△	※	
	電話	◎	△	※	ドコモ AU softbank emobile
入所者	総	人	男	人	世帯数
	要介護者	人	女	人	
	妊婦 小児	人 人			
公衆衛生 インフラ	トイレ	◎	△		
	毛布	◎	△		

不足分

# 情報収集用紙

未回収  
21:25

有11-73A  
00-870-7763-02/00

## 情報収集用紙

時間： 21:00

誰から： H台7ル-20

誰へ： D

内容： 本館宿帳に物資が足りない  
SAに以下0物品の補給状況を聞けた

食料 食料 ) 翌朝に付付いた。  
水 )  
毛布 200枚 )  
ガソリン )  
食油 )

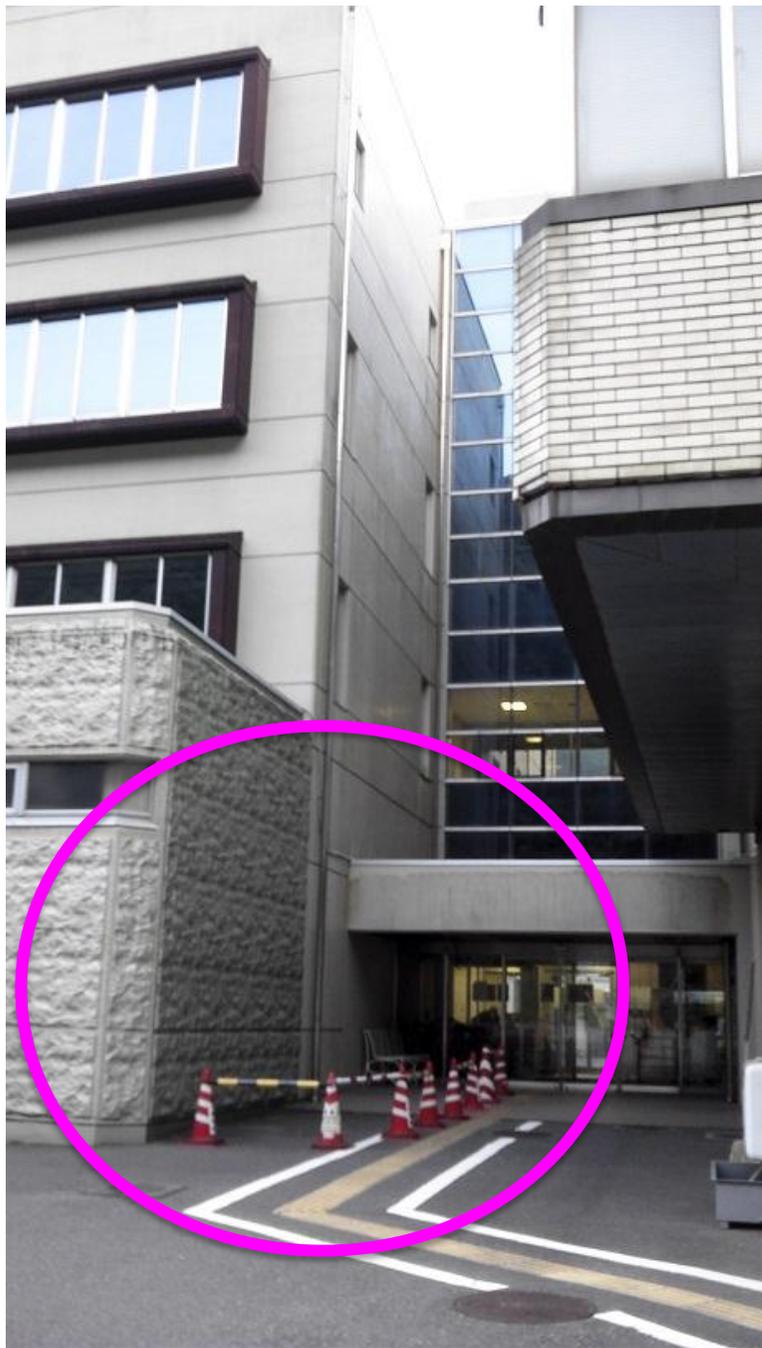
}

117, 60CSH 届くまで  
2017/11

# 16:30釜石地区対策会議



17:15手が足りない



指定された野営位置では  
電波が入らない・・・

急遽 県立釜石病院へ

19:10 本部移動



## 夜の転進

19:50 釜石病院着



21:37 本部移動先 通信



23:00 問題点の抽出中



5:50 起床  
眠れた？



7:00 後継班に引き継ぎ

9:20 帰りは順調

D-1より見たD-2号車  
高速道に交通規制なし

反省点は山の様にありましたが

すべてのスタッフの皆様

我々以上にお疲れのことでしょう

**ありがとうございました**



# 反省点

相互連携・連絡不足

# 改善法

- 出発前のブリーフィング
- 班員名簿、衛星電話番号の相互交換
- 対策会議 予定時刻明示
- 定時連絡の要請

# 反省点

情報内容の具体性の  
欠如

患者状態・緊急度  
搬送法?  
何の薬?・どれくらい?

電話の錯綜  
電話以外の通信手段  
に気づかなかった

# 改善法

EMISの活用  
メール、FAXの活用  
情報メモ活用  
重要度・緊急度別

電話番号の一覧掲示  
分かりやすい  
組織図＋電話番号簿  
(機種別リスト)

# 反省点

未解決案件の放置

リーダーへの情報共有  
が不十分

問題点が明確化欠如!

案件のトリアージ欠如

# 改善法

自分の受けた案件は済ませ  
てから次の情報をとる

地区制?

担当制?

情報メモには重要度の明  
示